



平成 19 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 東 和 銀 行
代 表 者 名 取締役 頭 取 吉 永 國 光
(コード番号 8558 東証第一部)
問 合 せ 先 財 務 経 理 部 長 田 村 盛 司
TEL (027) 234 - 1111

平成 20 年 3 月 期 中 間 期 末 の 有 価 証 券 評 価 損 並 び に 有 価 証 券 含 み 損 に 関 す る お 知 ら せ

1. 平成 20 年 3 月 期 中 間 期 末 の 有 価 証 券 評 価 損

当行では、「その他有価証券」について、金融商品の時価会計基準により、簿価に比べ時価あるいは実質価額が著しく低下した銘柄につき減損処理を行っております。

このたび、平成 20 年 3 月 期 中 間 期 末 に お け る 有 価 証 券 評 価 損 (減 損 処 理 額) を 算 出 しました結果、次のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

平成 20 年 3 月 期 中 間 期 末 の 有 価 証 券 評 価 損 の 総 額 (A)	564 百万円
平成 19 年 3 月 期 の 純 資 産 額 (A / B) × 100	32,703 百万円 1.7%
最近 5 事 業 年 度 の 平 均 経 常 利 益 額 (A / C) × 100	2,839 百万円 19.9%
最近 5 事 業 年 度 の 平 均 当 期 純 利 益 額 (A / D) × 100	1,687 百万円 33.4%

(ご参考)

1. 当行の中間決算期末は、9 月 30 日であります。
2. 減損処理基準の概要は次のとおりです。
期末の時価が簿価に比べて 50%以上下落した銘柄は全て減損処理
期末の時価が簿価に比べて 30%以上 50%未満下落した銘柄は回復可能性なしと判断したものを減損処理

2. 平成 20 年 3 月期中間期末の有価証券含み損

当行の保有する有価証券について、平成 20 年 3 月期中間期末における有価証券の含み損を算出したしました結果、その総額が次のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

(A)平成 20 年 3 月期中間期末の有価証券含み損の総額	1,488 百万円
(B) 最近 5 事業年度の平均経常利益額(A / B × 100)	2,839 百万円 52.4%
(C) 最近 5 事業年度の平均当期純利益額(A / C × 100)	1,687 百万円 88.2%

(注) 1. 「満期保有目的の債券」及び「関連会社株式」のうち、時価を合理的に算定できるものの全てを対象としています。

2. 対象有価証券の帳簿価額 127,874 百万円
時 価 126,928 百万円

(ご参考)

1. 当行の中間決算期末は、9 月 30 日であります。
2. 平成 20 年 3 月期中間期末における有価証券の含み益及び差引き含み益は以下のとおりです。

(D)平成 20 年 3 月期中間期末の有価証券含み益の総額	542 百万円
(E)平成 20 年 3 月期中間期末の有価証券差引き含み益の総額(D - A)	945 百万円

以上